

# CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)DPL新潟巻潟東 新築工事				
建設地	新潟県新潟市西蒲区漆山字砂押8293-1 外				
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし				
建物用途	事務所、工場				
竣工年	2024年01月 予定				
敷地面積	26,663.65 m <sup>2</sup>				
建築面積	14,702.37 m <sup>2</sup>				
延床面積	14,659.25 m <sup>2</sup>				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2022年11月15日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40.6}{33.8} = 1.2$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.9		維持管理	Q2.1.3	-
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
			耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		信頼性	Q2.2.4	2.8
			雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
BPI <sub>m</sub> =0.55。 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。					

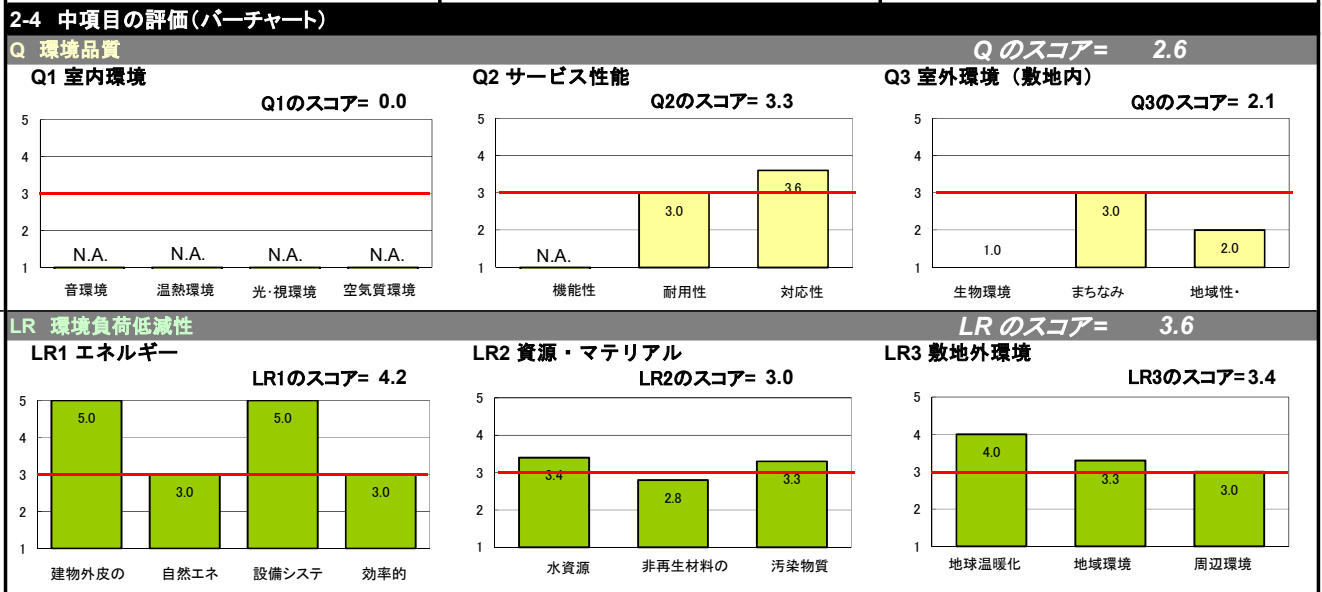
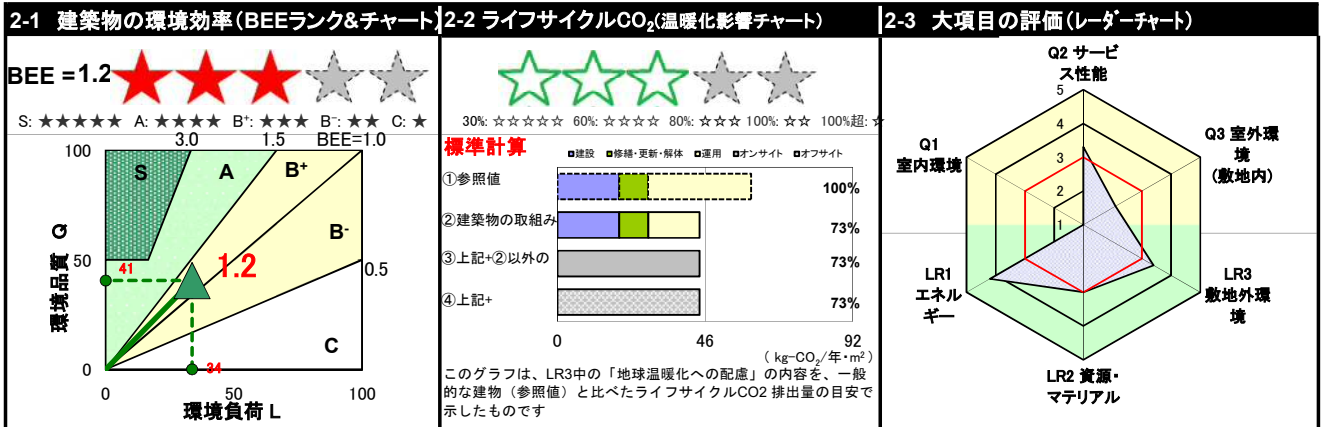
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL新潟巻潟東 新築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西蒲区漆山字砂押8293-1 外	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年01月 予定	評価の実施日	2022年11月15日
敷地面積	26,664 m <sup>2</sup>	作成者	袖山 真武
建築面積	14,702 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月30日
延床面積	14,659 m <sup>2</sup>	確認者	深澤 康志



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
評価対象外	階高:6.2m。 [壁長さ比率] < 0.1	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.55。 BEI=0.50。	節水などに加えて、節水型機器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される